

「亥の子祭り」体験記

塾生のモコです。こんにちは。

小阪区の「亥の子祭り」に参加させていただきました。

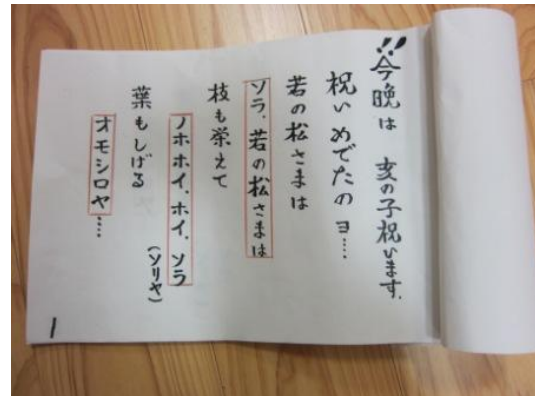
「亥の子祭り」は、旧暦10月の最初の「亥の日」に行われる伝統行事のひとつで、「亥の子さん」に扮した若者たちが「亥の子祝い歌」を歌いながら、竹で地面をつき、無病息災・子孫繁栄を祈ります。



「亥の子祝い歌」を歌いながら竹で地面をつく

暗くなり始めた夕方6時、総勢17人が集まり、集落の上から回るグループと下から回るグループに分かれて、各戸を回り始めました。

「こんばんは、亥の子祝います」と、一人が先導して歌い始め、皆で竹を地面につきながら、後に続きます。歌い終わると、家主から酒、亥の子餅、祝儀等を頂きます。



「亥の子祝い歌」全部で11番まである赤の囲いの部分は皆で歌うところ

「1軒でもつき残したら悪いって言うんやだ」と、2時間半かけて各戸を回り、集合場所で2グループが合流して、終了しました。

「昔は亥の子祭りが楽しみで仕方なかった。早く次の家に行きたくて、走って向かったものだった」と地元の方から聞いていた通り、本当に楽しいお祭りでした。

かつては、色川の各区で行っていたそうですが、現在でも残っているのは小阪区のみ。一時期はその存続が危ぶまれたそうですが、小阪区の青年会が中心となって、この行事を守り続けています。今後も、集落の域を超えて色川の住民有志で、継続して開催されればと強く思いました。

ⁱ 2010年は、11月9日が「旧暦10月・最初の亥の日」となっています。